



# 編集後記

## 奥野 征勝 (五丁目)

私事、訳あって3年振りに町内公民館長に復帰しました。予想通り浦島太郎でした。町内公民館発のニュースや、町会だよりがカラー紙面や手書のかわら版(イラストも手書)で驚愕の進歩で、太郎も脱帽しました。進化した各町内公民館長さんに学ぶ楽しい1年でした。今度は貴方も体験して見ては如何でしょうか。

## 丸山 寿美枝 (八丁目)

1年を振り返ってみると、不安から始まった館報編集委員でした。右往左往しながらも編集委員の方々の御協力を頂き1年無事終える事が出来ました。町会行事である三世代交流会の豆まき会、ラジオ体操等各世代と一緒に楽しむ事が出来、地域のつながりの大切さを実感した1年でした。

## 山崎 文子 (九丁目)

町内公民館長・館報編集委員になって、何もかも初めての事ばかりで不安だらけの1年間でした。皆様に助けられて、公民館活動に参加できた事が良い経験になりました。有難うございました。

### ●館報編集委員長●

## 犬飼 俱子 (四丁目)

館報編集委員長の大役で、委員の皆さんに協力いただき、楽しい館報をお届け出来たと思います。全市の公民館長会の行事に参加させていただき、各地区の公民館のあり方も多く学び、大勢の仲間とケーキ作りをしたり、旅行に行ったりして、充実した2年間でした。ありがとうございました。



## 中島 一郎 (東町会)

2年間、寿台版館報編集委員を仰せつかり、務めて参りました。当初は慣れないことに戸惑うばかりでしたが、ベテランの方々のご指導により、何とか役割を果たせたかな?と思っております。これからも微力ながら地域の皆様のお役に立てれば幸いです。

## 小林 深山 (一丁目)

初めての町会役員で、町内公民館長・館報編集委員の大役。知らないことばかりでしたが、地区の活動や、行事を学ぶことが出来て有意義な1年でした。これからも地域の皆さんとの出会いを大切にしながら、明るい町づくりに協力したいと思います。

### ●館報全市版編集委員●

## 戸田 道雄 (二丁目)

「平和の春に新しく...自由の朝をたたえよう...」今も公民館の集会などで歌い継がれている『公民館の歌』です。昭和22年、公民館の理念を広めようと公募でこの歌詞が選ばれました。戦後の平和と自由を手にした喜びが伝わってきます。いつまでも戦後であり続けなければ。

## 小林 春美 (三丁目)

町内公民館活動の情報交換では、他町会の活動など知る事ができ、参考となる事が多くありました。また、文化祭の模擬店では、プラ板でのストラップ作りを行い、大勢の子どもたちと触れ合えることが出来、とても良い経験になりました。



花壇の手入れも、住民の皆さんが笑顔の思い浮かべながら、総出で一生懸命に行っています。



しかしながら活動に参加される方が少ないため、多くの方に参加いただけたらと思います。

## 第四章



## 高齢者クラブの輝き

### 寿台二丁目「平成寿会」

会長 加々見 泰男

全住民のうち70歳以上の高齢者が120名を占めており、ご他聞にもれず高齢化社会です。会員数は60名(男女同数)。歴史は長く紆余曲折はあったものの上條敏前会長のもと、抜群の結束力で活動してきました。会員には意思統一のため毎月の行事をクラブな予定表にして配っています。会で行う作業としては資源物収集を収集日の前週日曜日に行い勤労者に好評です。また、公共建物の清掃も各町会高齢者クラブと共にかかさず行っております。会員の健康に配慮して各種スポーツも公民館等で定期的に行っています。寿台に潤いをあたえる

しらゆり会の活動としては、三丁目町内公民館事業として実施している交流会に共催しています。交流会には大人から子どもまで30名程が参加され、楽しい時間を過ごしており、町会内の親睦を深めるのに一役買っていると実感しております。

会長 林 敏子

### 寿台三丁目「つゆゆい会」